

武蔵工業大学後援会誌

Mi-GOM

No. 23

2001-1



第71回 MI-TECH祭が11月24日～26日、
黄金色に輝く秋真っ只中の世田谷キャンパスで開催された。
3号館前の特設ステージで行われたJAZZ FESTIVALでは
OB編成バンドが参加、その存在感をおおいにアピールした。
受け継がれ、育まれる伝統。これぞ大学祭。

知 恵 の 時 代



後援会副会長 漆原 道生

21世紀の幕開けも時間の問題となった今年、『介護保険制度』『年金制度の改革』そして『交通バリアフリー法』が制定されスタートした。これらに共通するのは、人に思いやりを持つこと、人を大事にすることであり、行政も企業も各方面で様々な取り組みが行われている。人の集まる施設には、エレベーターやエスカレーターが設置され、階段の手摺や多目的トイレが作られ、又、車椅子用のスロープや目の不自由な方への点字標示などがある。自動車にも身体の不自由な方のための各種技術の改良がなされている。アイドリングストップ車や低公害車など枚挙にいとまがない。このような施設や技術は行動のバリア(障害)を取り除き、人生を楽しむことに役立っている。

そこで私は、ハード面での施設や技術が進む事は良い事であると思う。しかし一方で、『心』の問題の方が気になる昨今である。『心』の面での配慮がなければ世の中は暗くなってしまう。法律や制度だけでは解決できない「自殺の増加」「いじめの問題」そして「公共での傍若無人な行動」など社会が良くなっているとは、とても思えないのは私だけであろうか？

国際化や情報化による競争がますます激化する世の中では総合的な人間性が勝負となる。様々な分野でインテリジェンスに溢れ、人間的に魅力のある人間が必要である。これからの人間は卓越した能力、社会への奉仕精神などハードルは高い...

だが、かつて世界から評価されていた日本人の持つ知性や革新性は、失われた訳ではない。少し悲観主義的であると私は思っている。これらを脱して、新しい将来のためには個人が確固たる考えを持つ事が必要となる。

『知恵の時代』と言われる21世紀を担うための人づくりが、今、求められている。



「父母との連絡会」 密着取材レポート

恒例の「父母との連絡会」が、今年も7月16日の沖縄県那覇市を皮切りに全国各地で行われてきました。東京地区ではスケジュールの一番最後にあたる9月30日(土)に開催され、世田谷キャンパス(工学部)と横浜キャンパス(環境情報学部)が会場となりました。東京地区の父母との連絡会では、学内見学という特別プログラムが用意されており、東京近県のみならず、遠方から参加されるご父母も毎年多数いらっしゃいます。ここでその模様をレポートしましょう。



受付風景(世田谷)

計599名。ご夫婦での参加も目立ちました!

今年の東京は9月の終わり頃まで厳しい暑さが続きましたが、「父母との連絡会」が開催された当日は、ようやく秋らしくしのぎやすい陽気になってくれました。今回参加していただいたのは、東京、神奈川、千葉、埼玉のご父母の皆様を中心に世田谷キャンパスが510名、横浜キャンパスが89名。ご夫婦での参加やお子様のご兄弟やご姉妹と一緒に、という方々も目立ちました。

世田谷キャンパスでは、最初に学内見学からスタートしました。これは一組30人ほどのグループで、教職員の引率のもと学内のさまざまな施設を



堀川学長(世田谷)



伊藤工学部長(世田谷)



石川就職連絡協議会議長(世田谷)

見て回るといふプログラムで、毎年大好評を得ています。主な見学施設は「水素エネルギー研究センター」「残響室・無響室」「半導体特別研究室」「情報処理センター」「自動制御研究室」「構造実験棟」「機械基礎実験室」「機器分析室」など。施設の説明は主に引率職員が担当しますが、研究内容などについては、そこで実際に研究を行っている大学院生が説明を担当。思い切り緊張しながらも奮闘する彼ら、そしてそれを温かい表情で見守るご父母の図は、今や毎年おなじみの光景となっています。

午後からは体育館で全体説明会です。堀川学長、伊藤工学部長、中山後援会長、石川就職連絡協議会議長よりそれぞれ説明が行われました。武蔵工大の教育指導の方針と今後の展望、さらに就職状況など、ご父母の皆様にとって非常に関心の高い事柄がわかりやすく語られ、どなたも熱心に耳を傾けていらっしゃいました。この全体説明会の後は、各学科・学年別の懇談会の時間となり、その後、希望者には個人面談も行われました。



就職を巡る状況について、わかりやすく解説

横浜キャンパスの父母との連絡会は、全体説明会から行われました。堀川学長、小沼環境情報学部長、中山後援会長、増井教務委員長、就職担当の高田教授よりそれぞれ説明がありました。



小沼環境情報学部長(横浜)

ご存じのように環境情報学部は今年で学部開設4年目。今の4年生は学部としてはじめて就職戦線に挑むわけです。それだけにご父母の皆様のお面もちは真剣そのもの。とくに就職に関連する話題ではメモをとる姿も見られました。時代は環境情報分野で働く優秀な人材を求めているということ、常に高い就職率を誇ってきた工学部での実績が、環境情報学部の就職指導にも生かされていることなどが就職担当教員から語られ、これらはご父母の皆様にとって大きな安心材料になったことでしょう。



高田教授(横浜)

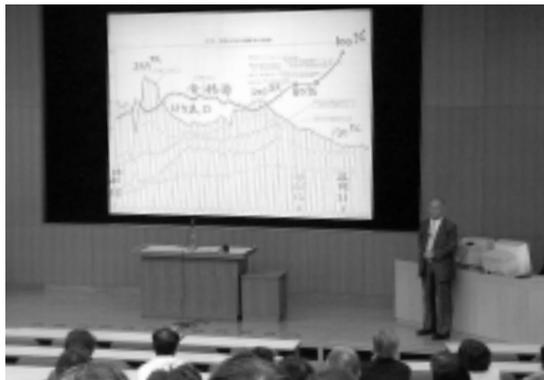
説明会の後は、“21世紀のエコ・キャンパス”と言われる学内を見学する時間。最新の情報機器を豊富に揃えた情報メディアセンターを

はじめ、教育の最先端に行く施設を目のあたりにして、皆さん大いに驚かれていたようです。午後からはクラス別懇談会となり、各教室に分かれて、担当教員よりさらに詳しい教育指導内容の説明が行われました。

こうして平成12年度の東京地区父母との連絡会は無事に幕を閉じました。お子様たちが日々を過ごすキャンパスを舞台とした一日は、参加された方々にとっても有意義なものであったことでしょう。今年参加できなかった方は、来年こそぜひ訪れてみてください。



中山後援会長(世田谷)



全体説明会(横浜)



参加された父母のコメント

世田谷
キャンパス



高橋加奈子さん(建築学科1年)のご両親
学内見学で研究室を回りましたが、少し室内が汚かったかな(笑)。しかし、研究設備の充実ぶりには感心しました。キャンパス内は都心と思えぬほど緑が多いですね。この環境で学ぶ子供が幸せに思えます。

世田谷
キャンパス



大島康司さん(機械工学科1年)のお母さん
駅から大学までの道のりが気持ちいいですね。学内には専門的な設備が揃っており、まるで精密工場顔負けですね。学食の試食もさせていただき、日頃子供がどんな大学生活を送っているのかがよくわかりました。

世田谷
キャンパス



佐田和人さん(機械工学科3年)のご両親
キャンパスが住宅街に違和感なくとけこんでおり、街と大学との共存がうまくできていると実感しました。子供からある程度は聞いていましたが、今回、実際に学内の様子を肌で感じることで、とても有意義でした。

世田谷
キャンパス



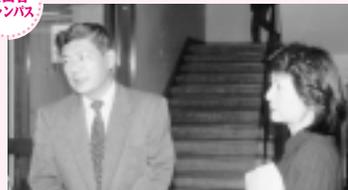
石橋賢一さん(電気電子工学科1年)のご両親
世田谷キャンパスを訪れるのは入学式以来です。息子が勉強している内容がわかり、とても有意義でした。研究では結果だけではなく、それに至る過程も重視した教育をされているようで、とても良いことだと思います。

世田谷
キャンパス



太田健一さん(電子通信工学科1年)のお父さん
昔、模擬試験で訪れたことがありますが、雰囲気が変わりましたね。通信関係の仕事に携わっているので、会社と比較しながら見学しました。自分の手でモノを作り出しながら学んでいくことは非常に素晴らしいですね。

世田谷
キャンパス



東 史恭さん(建築学科3年)のご両親
建築学では自然や周辺環境に配慮した教育指導を行っているようで、素晴らしいと思います。先生方はどなたもお人柄が良く、また学生一人ひとりに対して親身になって考えてくださるようで、嬉しく思いました。



学内見学風景(世田谷)



3号館(世田谷)



水素エネルギー研究センター(世田谷)



学年別懇談(横浜)

「父母との連絡会」 の一日

各施設を見学し、学食の味まで堪能!
皆さんキャンパスの雰囲気
を思う存分満喫されようです。



電子通信工学科 音響情報研究室(世田谷)



吹奏楽団によるコンサート(世田谷)



学食の試食メニュー中華丼(横浜)



食事風景(世田谷)

横浜
キャンパス



本多太郎さん(環境情報学科3年)のお母さん
全体説明会で環境情報学部の理念や目指すところ、就職状況などがよくわかりました。息子はもちろん、ここで学ぶ学生には自分の進む方向をしっかりと見据えた上で、有意義なキャンパスライフを送ってもらいたいですね。

横浜
キャンパス



伊藤秀憲さん(環境情報学科3年)のお父さん
環境情報という学問自体、世間ではそれほど認知されていないと思います。今日の説明会で就職担当の方の話を聞きましたが、まだまだアピール度が低いなど感じました。卒業生たちのこれからの活躍に期待しています。

横浜
キャンパス



古勝公一郎さん(環境情報学科1年)のお母さん
本当に洗練された雰囲気のキャンパスですね。情報機器の充実ぶりにも驚かされました。学食では中華丼をいただきましたが、ボリュームが十分で、味もなかなか。栄養的にもよく考えられているようで安心しました。

横浜
キャンパス



鎌田宗尚さん(環境情報学科1年)のお父さん
クラス別懇談会終了後も、最後まで残って先生にお話を伺っていました。時代のキーワードである「環境」や「情報」といったことが、どう学問とつながっていくのかをわかりやすく説明してもらい、よく理解できました。

横浜
キャンパス



後藤和希さん(環境情報学科1年)のお母さん
どんなことを教えているのか、どのように社会に貢献できる人材を育てているのかがよくわかりました。先生たちは熱意にあふれ、頼もしいです。息子とは大学のことについてあまり話しませんので、来た甲斐がありました。

横浜
キャンパス



岡田紘子さん(環境情報学科1年)のお父さん
このような機会でもなければ大学を訪れることはありませんので、思い切って参加してみました。クラス別懇談会では先生と個別の話ができ、良かったです。子供が卒業するまでにまた参加しようかと思っています。

平成12年度の就職動向

今年度の就職戦線は、景気が若干の回復基調にあり、IT関連分野の人材需要の増加・企業収益の改善・リストラの一巡等の要因により、採用環境は回復しています。新卒採用は3年ぶりに増加に転じ、大卒理工系16.1%増、同文科系9.9%増となる見通し(日本経済新聞社調べ)となっています。しかし、採用活動・方針については、依然として「早期化」「厳選化」「多用化」が進み、会社説明会・採用選考・内定出しの日程が前年度より前倒し傾向となり、能力・適性・意欲が重視され、職種別・事業部別採用等により専門性が問われる採用手法が増加しています。

本学においてもこの好環境により、求人企業数が大幅に増加し、12月1日現在の求人企業数は工学部3,497社(前年比13.3%増)大学院1,462社(同17.9%増)環境情報学部1,349社となっています。

この環境と前年度の就職状況の厳しさから、就職指導・支援による就職意識の向上と学生個々の自覚により就職希望者における内定率が好調に推移しました。12月15日現在の内定率は工学部91.5%(前年90.2%)大学院94.3%(同89.4%)環境情報学部90.9%となっており、就職活動アンケート(提出者による)では、96%の学生が「満足した」「ほぼ満足した」と回答がありました。

今後の見通しとしては、業種や規模により温度差があるものの企業業績の回復と人材需要の高まり等により拡大傾向と予想されます。しかし、「優れた人材の確保」のために採用計画は「早期化」「厳選化」はさらに強まると思われます。従って、大学生生活全般から自己の能力・適性・興味等を早期分析し、個人形成をしていくことが最も大切なポイントになります。

平成12年度求人就職内定状況

(平成12年12月1日現在)

項目	就 職 希 望 者	内 定 者	内 定 率 (%)	求 人 企 業 数	1人当りの企業数	求 人 数	1人当りの求人数	進 学 希 望 者	進 学 決 定 者
工学部									
機 械 工 学 科	105	94	89.5	2 746	26.2	5 553	52.9	46	32
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	65	62	95.4	2 452	37.7	5 037	77.5	23	19
電 気 電 子 工 学 科	84	81	96.4	2 892	34.4	5 822	69.3	61	50
電 子 通 信 工 学 科	69	65	94.2	2 597	37.6	5 342	77.4	23	17
電 子 情 報 工 学 科	39	38	97.4	2 494	63.9	5 144	131.9	15	14
建 築 学 科	93	76	81.7	2 160	23.2	4 480	48.2	45	25
土 木 工 学 科	76	73	96.1	2 158	28.4	4 477	58.9	27	22
経 営 工 学 科	112	93	83.0	2 074	18.5	4 356	38.9	22	16
エ ネ ル ギ ー 基 礎 工 学 科	28	25	89.3	1 937	69.2	4 131	147.5	19	13
小 計	671	607	90.5	21 510	32.1	44 342	66.1	281	208
大学院工学研究科									
機 械 工 学 専 攻	34	31	91.2	1 194	35.1	2 313	68.0	2	1
生 産 機 械 工 学 専 攻	30	30	100.0	1 086	36.2	2 144	71.5	2	1
電 気 工 学 専 攻	93	92	98.9	1 290	13.9	2 453	26.4	2	2
建 築 学 専 攻	38	28	73.7	870	22.9	1 745	45.9	1	1
土 木 工 学 専 攻	22	21	95.5	865	39.3	1 743	79.2	0	0
経 営 工 学 専 攻	21	20	95.2	885	42.1	1 777	84.6	2	0
原 子 力 工 学 専 攻	9	9	100.0	805	89.4	1 650	183.3	0	0
小 計	247	231	93.5	6 995	28.3	13 825	56.0	9	5
合 計	918	838	91.3	28 505	31.1	58 167	63.4	290	213
環境情報学部									
環 境 情 報 学 科	170	148	87.1	1 349	7.4	2 748	15.0	22	11
留 学 生	13	10	76.9						

就職・進学活動スケジュール

工 学 部

学年	2年生(進路を考える)	3年生(進路についてより具体的に考える)	4年生(就職・進学活動の本番です)
公務員等	4-6月 公務員試験模試 10月 公務員ガイダンス及び講座説明 12月 公務員試験受験対策講座 12-3月 公務員試験模試	4-6月 公務員試験模試 10月 公務員ガイダンス及び講座説明 12月 公務員試験受験対策講座 12-3月 公務員試験模試	4-6月 公務員試験模試
民間企業		10月 各学科就職ガイダンス(第1回) 適性検査(職業適性・情報処理適性) Uターン就職ガイダンス(第1回) 就職講演会(就職活動全般) " (自己分析) " (エントリーシート・論作文) " (女子学生) 11月 就職試験対策(SPI・論作文) 11-1月 *自己分析・筆記試験対策 *業界・企業研究、エントリー 12月 就職試験対策(一般常識) 1月 各学科就職ガイダンス(第2回) 2月 就職試験対策(一般常識・SPI・履歴書) 公開模擬面接講座 3月 各種就職模擬試験直前対策 (SPI・一般常識・論作文・履歴書) 学内企業研究会(3日間) Uターン就職ガイダンス(第2回) 就職試験対策(模擬面接)	4月 各学科就職ガイダンス(第3回) 健康診断(2日間) *学内での希望調査及び推薦者決定 5月 学内企業研究会 6月 学内企業研究会 4-6月 *採用試験(3月から開始の企業あり) *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続
本学大学院進学		4月 進学予定者対象の進学説明会 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討	4月 進学予定者対象の進学説明会 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 推薦入学試験 8月 学生募集要項入手・願書提出 9月 第1次入学試験 2月 第2次入学試験
他大学院(海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験

自らの適性に基づいて家庭で協議

平成 12 年度 卒業見込者に対する都道府県別求人数及び就職内定者数

[平成12年12月1日現在]

北海道 553(2)	栃木 536(1)	石川 671(5)	滋賀 81(0)	岡山 431(2)	佐賀 72(0)
青森 233(0)	群馬 656(8)	福井 242(0)	京都 592(9)	広島 550(6)	長崎 76(0)
岩手 286(1)	埼玉 1,718(4)	山梨 267(3)	大阪 2,608(29)	山口 152(0)	熊本 135(0)
宮城 194(1)	千葉 1,500(4)	長野 1,074(15)	兵庫 748(6)	徳島 47(2)	大分 86(1)
秋田 190(1)	東京34,002(655)	岐阜 156(0)	奈良 66(0)	香川 284(1)	宮崎 54(0)
山形 271(0)	神奈川 5,548(117)	静岡 1,444(9)	和歌山 70(0)	愛媛 167(1)	鹿児島 116(2)
福島 337(4)	新潟 491(2)	愛知 1,843(10)	鳥取 35(0)	高知 151(1)	沖縄 134(1)
茨城 826(8)	富山 441(1)	三重 179(0)	島根 6(0)	福岡 596(5)	

都道府県名の横の数字は求人数で、()内の数字は就職内定者数を示す。

平成 12 年度就職内定先企業 / 資本金順上位 50 社(工学部・大学院)

数値は就職人数 [平成12年12月1日現在]

東京電力1	松下電器産業2	京セラ3	川崎重工業1	石川島播磨重工業2
関西国際空港1	JR東日本3	大日本印刷1	富士重工業4	鹿島建設2
ソニー6	三井物産1	大和ハウス工業1	清水建設1	トステム7
日立製作所11	積水ハウス3	プリヂストーン1	キヤノン販売1	フジタ1
東芝3	三菱電機3	凸版印刷2	日本通運1	SMC5
三菱重工業2	キヤノン3	リコー3	小松製作所1	竹中工務店1
富士通4	三菱自動車工業2	三菱マテリアル2	沖電気工業4	パイオニア2
NEC5	日本 IBM1	大成建設4	ミネベア1	富士電機1
シャープ1	アンリツ3	ローム1	日本精工2	フジクラ1
日産自動車5	マツダ1	本田技研工業4	村田製作所5	プロミス1

平成 12 年度就職内定先企業 / 資本金順上位 50 社(環境情報学部)

数値は就職人数 [平成12年12月1日現在]

ソニー2	アイネス2	韓国富士ゼロックス1	ナイガイ1	毎日新聞社1
日立製作所1	住友林業1	トランス・コスモス1	日本システムディベロップメント1	日本酒類販売1
積水ハウス1	荏原製作所1	日立情報システム1	シーイーシー1	大塚商会1
大和証券グループ1	伊藤ハム1	マクニカ1	大木建設1	東急エージェンシー2
大成建設1	大和工商リース1	イーキ1	不二家2	東急ケーブルテレビジョン1
日本通運1	中外製薬1	米久1	東邦薬品1	岡藤商事1
トステム1	クラリオン1	兼松エレクトロニクス1	ゼンリン1	帝国通信工業1
フジタ1	センコー1	SMK1	ソーテック1	建設技術研究所1
オリンパス光学工業1	セブンイレブン・ジャパン1	東日本ハウス1	テンアライド1	サッポロビール飲料1
P&G1	住商情報システム1	牧野プライス製作所1	NOVA1	平和紙業1

環境情報学部

学年	2年生(進路を考える)	3年生(進路についてより具体的に考える)	4年生(就職、進学活動の本番です)
公務員等	6月 公務員ガイダンス 9月~ 公務員受験講座 教養試験対策講座 専門試験対策講座	6月 公務員ガイダンス 9月~ 公務員受験講座 教養試験対策講座 専門試験対策講座	4~6月 公務員試験模試
民間企業	4月 就職ガイダンス(就職準備) 6月 " (就職試験対策) 11月 就職講演会(就職準備) 1月 職業適性検査 2月 簿記講座(予備講座)	4月 就職ガイダンス(就職準備・試験対策) 5~6月 就職試験対策(SPI一般常識) 適性検査(情報処理) 7月 就職講演会(人事が求める学生像) " (業界・企業研究) 9月 就職ガイダンス(諸手続) 就職講演会(インターネット活用法) 職業適性検査(編入生対象) 進路面接(希望者全員) 就職講演会(就職活動全般) 10月 就職試験対策講座 (SPI一般常識・経済常識) 就職講演会(業界・職種研究セミナー) " (自己分析) " (エントリーシート・論文) 11月 業界研究セミナー(約30社) 論文講座 履歴書作成実践対策講座 就職試験対策(SPI一般常識) 12月 面接対策セミナー 2月 就職ガイダンス(諸注意) 論文講座 履歴書作成実践対策講座 就職試験対策(SPI一般常識) 学内企業研究会 模擬面接講座 " (簿記検定講座(予定))	4月 就職ガイダンス * 学内での希望調査及び推薦者決定 4~6月 * 採用試験(3月から開始の企業あり) * 採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続
	本学大学院進学		4月 進学予定者対象の進学説明会
他大学院(海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り寄せ 情報収集活動	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験

自己適性に基いて家庭で協議

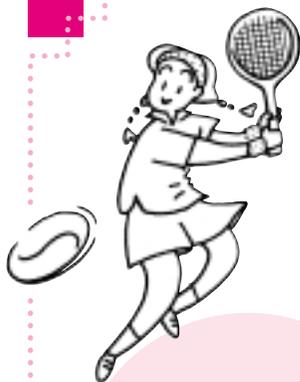
キャンパスSPOT ⑦



18号館(クラブハウス)の各施設一覧

- | | | | |
|--|--|------------------------------|--------------------------------|
| 1F
管理人室、更衣室、シャワー室
作業場、第1共同倉庫
共同倉庫(A) | 2F
第一会議室兼音楽練習室
第2共同倉庫
第1~第4ミーティングルーム | 3F
第二会議室兼
音楽練習室 | 4F
多目的ホール
共同倉庫(B) |
|--|--|------------------------------|--------------------------------|

1F スポーツ後はシャワーを使ってサッパリ。



男子更衣室の風景。あちゃー、見なきゃ良かったかも？



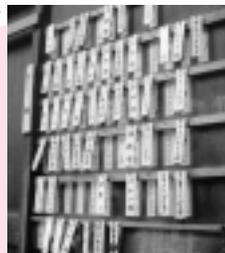
シャワー室は清潔。ここでスポーツの汗を流します。



管理人の安武さん



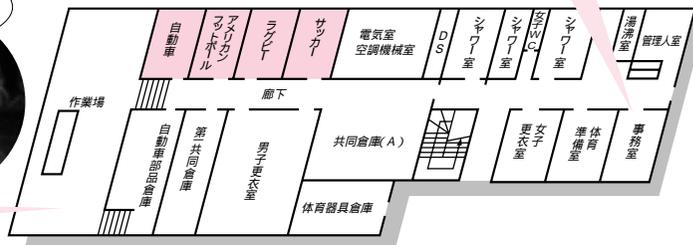
管理人の山口さん



事務室にズラリとかかっている各部室の鍵。部屋に最初に入る人は、ここで管理人さんに申し出て鍵を借ります。あんまり掃除をしていないようだと、鍵を貸してくれないなんてことがあるかも？

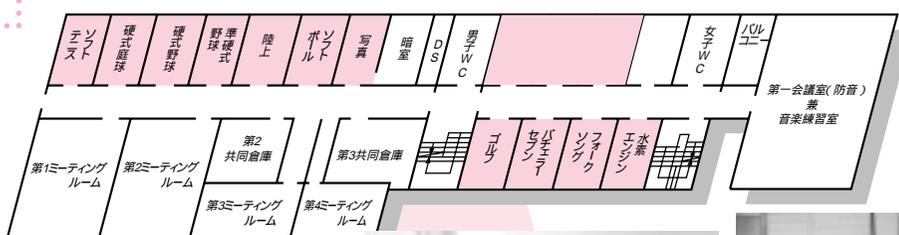


メカいじりが好きな人ばかりなんだ。(自動車部1年・村上裕之君)



数々のレースに参加し、ドライビングテクニックを磨いている自動車部。

2F ミーティングルームは部の会議に活用。



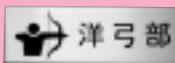
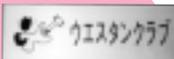
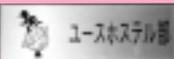
みんながみんな、アニメの知識では誰にも負けないと思っていますんだ

第3ミーティングルームで会議を行っていたマンガ・アニメ同好会。



↑アート指向の人が多い写真部。部屋の隅は暗室となっており、ここで自分たちで現像します。

3F 音楽系のクラブの練習でいつもにぎやか!



細田雄太君(バチェラー7・2年)



内田亮君(バチェラー7・4年)



田中良平君(バチェラー7・2年)



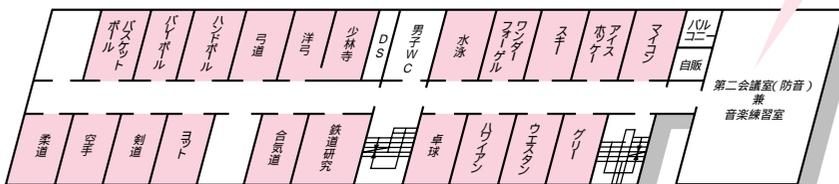
各部室のドアプレートには、部の名称とともに、その部を象徴するようなイラストが描かれています。このセンスがなかなかよいのです。



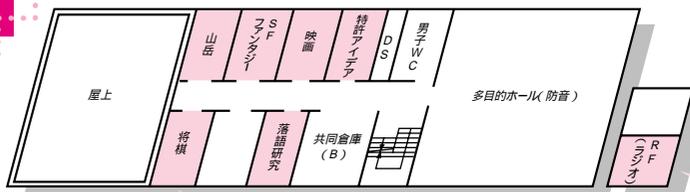
第2会議室で練習中のウエスタンクラブ。諏訪浩二君(3年)、三橋明佳さん(4年)、高木良太君(3年)の3人です。



バチェラー7の皆さんも練習中。第2会議室は壁に防音対策が施されているのです。



4F ディープな部が多いのはこのフロア...



屋上で大きなアンテナを発見。これを利用してラジオクラブは無線の研究を行っているようです。



お暇なら一局いかが? 僕らプロ棋士顔負けの腕ですよ.....なんちゃって。

◀将棋部の部室。ちゃんと量がありました。



4階の多目的ホールも防音対策が施されており、演劇部がよく練習に使用しています。



18号館屋上から多摩川グラウンドを見下ろしたところ。ちょうどアメリカンフットボール部の面々が練習に汗を流していました。



クラブ活動紹介……

星空を見上げることが何より好きなロマンチスト(?)集団「天文研究会」と、バンド活動に青春をかける熱い仲間たちによって結成された「横浜キャンパス音楽団体連合」。今回はこの2団体におじゃまし、活動内容を取材しました。

自作プラネタリウムで天体の美しさを紹介

天文研究会

DATA

顧問: 片田 敏行 教授
会長: 中村 宗一
(電気電子工学科4年)
会員数: 15名



満天の星空を正確に再現し、幅広い年齢層の方々に大好評



天文研のムードメーカーな存在である森田謙輔君

世田谷キャンパスの大学祭、「MI-TECH祭」に訪れたことがある方なら、教室を使って本格的なプラネタリウムが展示されていたのを覚えているかもしれません。あれをプロデュースしているのが天文研究会の面々です。平成8年の学祭でデビューして以来毎年展示され、武蔵工大生はもちろん、他大学の学生やご父母、さらには地域の方々からもたいへん好評を得ています。今年度

の受賞を含め度も学長賞を受賞しており、今や武蔵工大の学祭になくはない定番的な企画と言えるでしょう。

彼らの作るプラネタリウムについてちょっと説明してみましょう。上の集合写真で見える黒いドーム型のもの。これがプラネタリウムの外枠です。空気を入れ、風船のように膨らませることにより、ドーム型を保つ構造となっています。直径は4mあり、見学者は二重扉となっている入り

口からドームの内部に入ります。ドームの内側に星を投影するのはスターボールと呼ばれる装置。これに加えて星座や夕日を写し出す補助投影装置までセットされます。驚くべきことにこれらのパーツはすべて天文研究会の部員たちの自作(!)によるもので、さらなる充実を目指し年々改良が加えられています。

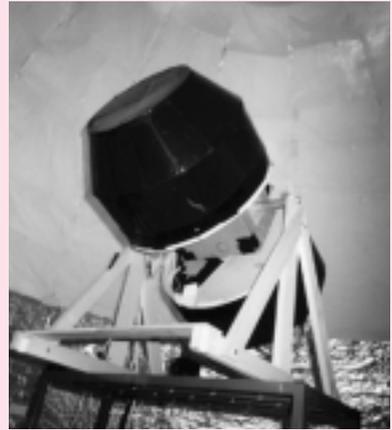
「自作のプラネタリウムでここまで本格的なものは、おそらく他大学にはないでしょう」と言うのは会の責任者である中村宗一君(電気電子工学科4年)。その言葉通り、彼らのプラネタリウムは非常に完成度が高く、たとえば東京の夜空を投影する場合、肉眼の10倍くらいの鮮明さで再現することができます。プログラムも本格的で、1回約15分の上映時間の中には、星座にまつわる神話や、



これからも天文研を引っ張り続ける(?)中村宗一君



天文研究会のプラネタリウムはその完成度の高さから三度も学長賞を受賞



プラネタリウムの心臓部であるスターボール



半袖 & 半ズボンで世界を駆けめぐる金城将浩君

外国の星たちのエピソードなども織り込まれ、見学者を少しも飽きさせません。「小学生から70代くらいの方まで、幅広い年齢層の方が見に来てくれるんです。そのためプログラムは見学者の顔ぶれに合わせて若干の変更をするようにしています。一度年輩の方から“子供の頃の東京の夜空を思い出しました”という感想をいただいたことがあって、あのときは本当に嬉しかったな。次はもっといいものを作ってやろうという気持ちになりました(中村君)。

同好会から正式な部へ昇格 今後の活動内容は？

現在の天文研究会の活動内容としては、プラネタリウム製作が一番の比重を占めているようですが、それ以外にもどんな活動をしているのでしょうか？

「合宿を兼ねた大規模な観測会を行ったり、各地のプラネタリウムに見学をしたりしています。獅子座流星群のような天体の大きなイベントがあるときも、必ず観測会に出かけますね。もともと星が好きな奴らばかりですから、100年に一度などというフレーズを聴くと、いてもたってもい



笑顔がチャーミングな後藤弘毅君(土木工学科1年)

れなくなるんですよ(笑)」と語る菅谷隆広君(電気電子工学科4年)。ただし他の部活動のように年間スケジュールがしっかり決まっているわけではなく、かなり行き当たりばったりな部分があるのは否めないようです。実はつい昨年まで天文研究会は「同好会」であり、学生団体連合所

属の「部」となったのは今年から。そのため同好会ノリがまだまだ抜けきっていないようなのですが、この気軽さがいいっていう人もいますが、今後はもう少し活発に活動したほうがいいかも……」と院生の森田謙輔君(機械工学専攻)も反省しています。

同じく院生の金城将浩君(生産機

械工学専攻)は「マニアックになっていく必要はないと思う。毎日何の気なしに見上げている星空について、もう少し詳しく知りたいという人はいっぱいいると思う。ボク自身そうだったし、そういう人が気軽に入部できるような雰囲気を残しながら活動を続けていってほしい」と言います。



星について勉強中の宮崎一裕君(電子情報工学科1年)

さしあたって近々部費で大きな天体望遠鏡を購入し(今まで先輩のお古を使用)、勉強会などを頻繁に行っていく予定とのこと。部としてはまだ歩き始めたばかりの彼らですが、自作プラネタリウムで学祭を盛り上げ続けてきた経験を生かし、さらなる歴史を作りだしていくのでしょう。



主催した「YC. Rock Festival」が大成功!



DATA

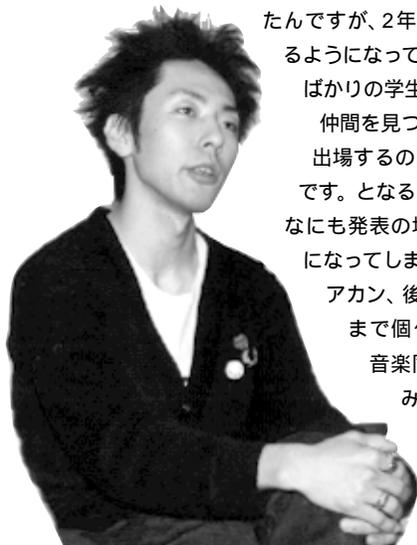
顧問: 宿谷 昌則 教授
会長: 庄司 顕則
(環境情報学科3年)
会員数: 68名(内女子8名)



バンド活動をより充実させるため 団体連合を結成することを決意。

「横浜キャンパス音楽団体連合(以下、横浜音団連)は、「Mix's」「PLAM」「Sound System」という3つの音楽同好会により構成されています。世田谷キャンパスと違い、歴史が浅い横浜キャンパスでは、ひとつの音楽団体だけでコンサートなどの大規模な活動をするのは難しい状況にあります。その状況を打破し、もっと積極的な音楽活動を行いたいとの思いから、横浜音団連は結成されたのです。

「バンド活動には発表の場が不可欠。でも今までは横浜祭(横浜キャンパスの学祭)ぐらいしかその発表の場がなかったんです。その横浜祭も、ボくらが入学した頃は10月だったんですが、2年前から6月に行われるようになってしまった。入学したばかりの学生にしたら、気の合う仲間を見つけてバンドを組んで出場するのは無理なタイミングです。となると、2年生の6月までにも発表の場がなく過ごすことになってしまう。こんなことじゃアカン、後輩のためにも、それまで個々に活動していた各音楽同好会を束ねる組織みたいなものが必要だと考えまして……」



庄司顕則君は「Mix's」に所属。横浜音団連のリーダーで、バンドではギター&ボーカルを担当。

と語るのは庄司顕則君(環境情報学科3年)。音団連の会長として、ずっとみんなを牽引してきた存在です。

最初は大学側に認めてもらうか、それとも自分たちだけで活動していくかで随分悩んだようですが、キャンパス内でのイベントや機材の確保等の面を考えると、前者の方が断然メリットが多いと判断。さらに、正式な組織となる以前の6月の横浜祭で2日間にわたりライブを行い、例年以上の成功を収めただけでなく、横浜祭の準備・片付けにも積極的に参加し、そこでも組織の必要性を再認識したようです。

その後、本年度前期中に正式に申請したところ無事に認可があり、後期から横浜キャンパス音楽団体連合として活動できるようになりました。

組織にした効果は、11月4日に町田のライブハウスで行った、横浜音団連主催の「YC. Rock Festival」での大成功にさっそくあらわれたようです。



「Mix's」に所属し、バンドではドラムを担当する花岡利孝君。大学生生活が充実しましたと語ります。

観客は延べ150人。 チケットもすべて完売するほどの大盛況。

この取材は「YC. Rock Festival」が終わってからまだ1週間もたっていない頃に行ったもので、彼らの表情にはまだライブの余韻がありありと残っていました。

「YC. Rock Festival」は、実は今年で二回目なんです。去年は横浜音団連を立ち上げる前だったから、出演したいバンドが好き勝手にやるという感じだったんですが、



熱い盛り上がりを見せた「YC. Rock Festival」。今後も毎年行っていく予定です。

今年は15バンドも参加したし、より本格的なライブになったんじゃないかな」と語るのは中川裕樹君(環境情報学科2年)。1バンドの持ち時間は25~30分ほどで、次から次へとバンドが登場する駅伝ライブ形式を取り、延べ150人のお客さんとともにたいへんな盛り上がりを見せたようです。木村



中川裕樹君は「Sound System」の会長。バンドでは華麗なギターテクニックを披露します。

悟郎君(環境情報学科2年)も次のように語ります。「バンドの順番も良かったんでしょう。後半に熱いバンドを持ってきたおかげで、盛り上がりにも加速が付きましてから」。花岡利孝君(環境情報学科1年)も「観客はほとんどが武蔵工大の学生でしたが、中には他大学の学生や父母の姿も見かけました。チケット制(1枚500円:1ドリンク付)であんなに集まるとは思わなかったな」と言います。

もちろん反省点がなかったわけではない、と横浜音団連副会長の緒方愛さん(環境情報学科3年)は言います。「バンドによって観客のバラつきがあったのは確か。とくに初めてステージで演奏するようなバンドでそんな光景が見られました。たぶんあまり積極的に勧誘



緒方愛さんは横浜音団連の副会長をつとめます。所属団体が「PLAM」。担当はベースとボーカルです。

しなかったからでしょうね。アマチュアのバンド活動には観客集めも大切なんだからまだわかっていないのかも。」とはいえ、盛り上がりにはやや欠けてると感じたら、すぐに先輩たちによる温かい声援(?)が観客席から飛んでいたようで、このあ

たりは横浜音団連のチームワークの良さと言えるでしょう。

最後に横浜音団連のこれからについて、今年限りで会長を引退する庄司君に聞きました。「今のところ3団体しか所属していません



木村悟郎君は「Sound System」の次期会長。ちょっと変わった芸名(?)でボーカルを担当。

が、もっと規模を大きくし、大学側に“こいつら凄いな”と思わせるくらい、精力的な活動を行って行って欲しい。他大学との交流ももっと活発にしていくべきかも。横浜キャンパスに入学した音楽好きな学生たちを、ガンガン牽引していく存在であり続けてもらいたいですね」

横浜キャンパスにおけるバンド活動の火をさらに盛んなものとするため、何も無いところから立ち上がった横浜音団連のメンバーたち。横浜祭などで彼らのライブを見かけたら、ぜひ応援してあげてください。



キャンパストピックス

シャトルバスが増便

世田谷キャンパス 学生課長 小山 純生

平成13年4月より、世田谷キャンパス(工学部)と横浜キャンパス(環境情報学部)を結ぶシャトルバスが後援会の援助により、1便増便されました。



本学では、毎年、学生と大学との意見交換を行う場として学生部長はじめ教職員も参加する「学生と大学との懇談会」という意見交換会が行われます。その場では授業のこと、学生食堂のこと、施設のことなど様々な意見や要望が出されます。シャトルバスについても環境情報学部開設当初より、毎年学生からシャトルバス増便の要望がありました。

特にクラブ活動を行っている学生からの要望が多く、現在多くの学生が課外活動をするために両キャンパスの移動にシャトルバスを利用しています。

そこで、本来、両キャンパスの学生等の相互交流を目的に運行した経緯から今年環境情報学部が完成年度を迎え、さらに相互交流を深め、課外活動等の活性化のために増便することにしました。

従来、世田谷キャンパスと横浜キャンパスの間を1台のバスで1日3往復(月～金)運行していたものを課外活動をする4時限(水を除く月～金)、2時限(水)授業終了後両キャンパスを相互運行する事となり、今後の各クラブ等の活躍が期待されます。

環境情報学部(横浜キャンパス) 第1期生の就職について

横浜キャンパス 学務課長 鈴木 照海

環境情報学部は、武蔵工業大学の第2の学部として、平成9年に文系から理系にわたる、いわゆる総合科学系の新しい領域の学部として誕生しました。この学部は、文理横断の新学部であるため、卒業後の進路についても全く未開のものであり、関係各方面の方々にとっては開学当初より大きな心配事でした。そんな中でスタートした本学部の就職指導の始まりは、彼らの2年次12月からです。始めに外部から講師(就職・採用コンサルタント)を招き、第1回就職講演会を開催し、併せて本学部全教員との就職懇談会を行いました。以後、各種のガイダンス、講演会、模擬テスト等を3年次いっぱい繰り返し実施し、就職試験の時期に向かっていきました。

本学部の学生が希望する企業及び職種は、既存の工学部学生の希望とはやや異なり、大学としても従来からの就職実績のない企業が多くを占めました。実際に企業からの求人も文系総合職を中心に若干の技術職(主に情報系)が混じったものとなりました。

結果として、11月1日現在で86%の内定を得ておりますが、産業界では総合科学系学生の受入れ形態が未だ整備されてはならず、文系か理系のどちらかの採用形態を選択せざるを得ない現実があり、この問題は、今後も暫く続くことでしょう。

このような状況下で、既に3年生の就職準備活動も本格化しており、第2期生からは、彼らの適正な職業選択のための支援として本学後援会から「就職活動補助」も得られましたので、今後、より有効な支援策を検討したいと考えております。

後援会会員の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解・ご協力をお願いいたします。



世田谷キャンパスでのゴミの分別化

学生部委員会 生活指導小委員会委員長 平井 昭司

現在、社会においては地球環境の保全・エネルギーの節約・資源の節約のため、ゴミの減量化と資源の再利用化を計ることが重要視されています。特に、最近では家庭ゴミを中心とする一般廃棄物を処理するゴミ焼却場から発生するダイオキシン等でわれわれの生活が脅かされています。このような対策には生活する個人個人の自覚によりますが、まず、その環境づくりが第一歩となります。

横浜キャンパスでは環境マネジメントに関するISO14001の認証を取得すべく、早くからゴミの分別を7種類で行い、学生や教職員の理解のもと実施されてきています。一方、世田谷キャンパスでは従来から燃えるゴミ・燃えないゴミ・空缶の3種類の分別でゴミの仕分けが行われてきましたが、環境問題やリサイクル問題の認識の低さあるいは社会的モラルの欠如で守られてきませんでした。このような背景の中、分別の種類をいくつにするかの討議を行い、当面可能な実施状況を得るた

め燃えるゴミ・燃えないゴミ・ペットボトル・缶ビンの4種類の分別を2000年7月から実施しました。実施するにあたりゴミ箱の設置場所、ゴミ箱の設置の数、ゴミ箱の大きさ等をキャンパス内の屋内・屋外を問わず調査し、さらに、ゴミの回収を行っている業者の作業内容等までも調べ、状況の把握を行って実行してきました。特にゴミ箱の増設に関しては、経費のかかることから多くの学生が集まりやすい場所のゴミ箱について後援会の補助のもと設置しました。実施してから数ヶ月が経過していますが、以前よりゴミの分別が進み、その効果は着実に現れてきています。



【課外活動短評】

将棋部

関東将棋連盟団体戦においてC 級において8位から5位へと順位を上げ、また、関東大学秋季リーグ戦においてはC 級準優勝により、5年ぶりにC 級へと昇級した。

水泳部

竹村亜衣さん(環境1年)が第10回春季公認記録会において日本学生選手権制限タイムを突破し、第76回日本学生選手権水泳競技大会50m自由形、100m自由形へ出場した。

ラグビー部

昨年に引き続き、関東理工系大学リーグ戦優勝、全国地区対抗ラグビー大会予選において優勝し全国地区対抗大会への出場権を獲得した。また、春に行われた東日本大学セブンズラグビーフットボール大会予選Bグループ2位となり、決勝トーナメント進出を果たした。

陸上競技部

田中孔弥子さん(情報2年)が関東理工系大会女子槍投げの部において、記録30m30で1位となった。

フットサルサークル Woods Bear

第2回トッパーカップカレッジフットサルフェスタにおいて、1次・2次予選を通過し決勝トーナメント進出。ベスト16という成績を修めた。

表現工房中川支店

今夏、初めての演劇『やさしい嘘のつきかた』を発表。4月から練習を開始し、予想以上に観客が多く、会場(教室)に入りきれないほどの大盛況だった。

【緊急奨学金】

平成12年度緊急奨学生として3名が採用され、授業料の半額及び全額が貸与されました。

事務局便り

平成12年度4月より3年間学生部長を担当することになり、併せて後援会事務局を引き継ぐことになりました。海老原前学生部長同様よろしく願い申し上げます。

後援会も発足以来早や十年余が経ちました。それにつれ後援会活動も着実に歩を進めています。なかでも学生団体連合会を中心とした学生行事関連の充実やクラブ活動の活性化は、工学系の大学としては目を見張るものがあります。さらに、本年度からは就職活動にも支援の輪を広げ、課外活動はもとより一般学生に対しても入学から卒業まできめ細かな支援活動を展開できるような体制が出来上がりがつつあります。これら一連の後援会活動は、本学学生の大学生活をより充実させるために多大な影響を及ぼしています。同時



に各々の学生の人格形成にも大いに効果を発揮するものと確信いたしております。

これもひとえに後援会のご支援の賜物であり、今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学生部長 浅野 証世

平成12年度「大学と父母との連絡会」について

平成12年度の「大学と父母との連絡会」は7月16日(日)沖縄の那覇市を皮切りに、9月30日(土)の東京・横浜地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

会場別出席者数(対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席者数(人)
札幌	9月3日(日)	札幌東急イン	12
盛岡	9月9日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡	16
仙台	9月10日(日)	ホテル仙台プラザ	22
郡山	9月9日(土)	ホテルハマツ	15
宇都宮	9月10日(日)	宇都宮ステーションホテル	29
水戸	9月10日(日)	ホテルシーズン	21
東京	9月30日(土)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス	510
横浜	9月30日(土)	武蔵工業大学 横浜キャンパス	89
高崎	9月9日(土)	高崎アーバンホテルナポリ	11
新潟	9月10日(日)	新潟東急イン	9
甲府	9月10日(日)	ホテル談露館	18
松本	9月9日(土)	松本グリーンホテル	12
長野	9月10日(日)	ホテルメトロポリタン長野	19
静岡	9月9日(土)	静岡第一ホテル	40
浜松	9月10日(日)	オークラアクトシティホテル浜松	19
金沢	9月2日(土)	金沢東急ホテル	15
富山	9月3日(日)	名鉄トヤマホテル	12
大阪	9月2日(土)	リーガロイヤルホテル	7
名古屋	9月3日(日)	名古屋国際ホテル	24
高知	9月2日(土)	ホテルサンルート高知	16
高松	9月3日(日)	オークラホテル高松	6
広島	9月2日(土)	リーガロイヤルホテル広島	6
岡山	9月3日(日)	岡山国際ホテル	7
鹿児島	9月2日(土)	城山観光ホテル	17
福岡	9月3日(日)	ホテルステーションプラザ	24
那覇	7月16日(日)	ホテル 西武オリオン	16
合 計			992

都道府県別出席者数

都道府県名	出席者数(人)	前年度出席者数(人)
北海道	12	15
青森	3	2
岩手	8	4
秋田	7	5
宮城	16	11
山形	4	4
福島	23	21
栃木	30	40
茨城	31	38
東京	178	181
神奈川	246	245
千葉	48	54
埼玉	66	75
群馬	23	24
新潟	9	11
山梨	27	32
長野	33	36
静岡	70	99
石川	13	16
福井	3	6
富山	14	15
大 阪	3	4
奈良	0	0
和歌山	1	1
兵庫	1	2
愛知	14	13
岐阜	3	4
三重	8	12
滋賀	0	2
京都	2	0
高知	12	10
香川	2	1
徳島	1	2
愛媛	6	3
広島	10	19
島根	0	2
山口	2	4
岡山	4	3
鳥取	1	0
鹿児島	11	1
福岡	16	28
佐賀	1	0
長崎	0	0
大分	4	5
熊本	1	5
宮崎	6	16
沖縄	16	17
その他	3	2
合 計	992	1090